



# ゼロのめ

ワト・十和 みゆ

### 3連休

---

3連休で嬉しい反面、金欠もありどう過ごそうかと言う疑問が浮かび上がる。とりあえず、のんびり家で過ごそう。

そう思うけど、テレビをだらだら見たり、遅寝遅起に加速……。ああ、幸せだ……。安心して過ごせる場所と眠れる環境に感謝。

外食もゆっくりできてよかったかな。少し、癒されるお店がいいですね。優雅だったり、くつろげるお店が一番です。

値段は普通でもそんなお店はたくさんありますからね。普段は、食べたい店とか気分を変えますけどね。

食べ歩きは楽しいですよ。新規開拓はどきどきします。口コミも書いたりしますが、悪くは書かないように表現に気をつけています。お店の存続にかかわりますからね……。

ケータイゲームも暇つぶし程度で、安上がりです。ネットの繋がりですが、離れてる人と会話ができるなんてすごいですよね。ツイッター、フェイスブックはしてません。ブログは散々やってきて、今はそんなにしてないですね。ミクシィもそんなにしてないです。あちこちやるのは時間と労力がいらいます。

そんな中、ケータイ小説はずいぶん続いています。7年目かな。メモ感覚で書けるので便利ですね。今、更新してる童話も今月中に完成予定なんですけど、間に合うかな……。この夏はあまりに暑くて、気力がうせてしまうからです。

母にプレゼントしたい本は、作成途中です。読んでもらえたらいいのですがね。作品自体は出来ていて、サイトで公開しています。

今日は、お昼ご飯にナポリタンを作ってみました。簡単でおいしくて失敗なしです。おやつにえびせんを揚げました。中華街で150円位で売っているものです。安くておいしいです。最近、気になってるのはすき家の牛とろ丼かな。価格が高いのでどうしようかなと思います。

お彼岸あたりから、涼しくなるといいですけどね。電気代がこわい……。ほぼ1日中、クーラーをつけています。ねゃんこが2匹いるからなんです。ねこは毎日が、休日だあ～。

最近、忙しくないのでのんびりする癖がついてしまいました。家にいる事なんて、なかったですから。遊びすぎと言う位に出歩いてました～。

## 価値と幸せ

---

人により、その価値観は大変ちがう。自分の夢は、未来を描いてる。もちろん、日々の暮らしに感謝して幸せを痛感しながらであるけれど。

毎日、小さな偶然という必然に感謝してる知人は、今が一番幸せにみえる。瞬間瞬間を、懸命に生きてるから言える彼女の言葉には、「ありがとう」という言葉が多い。

感化され、その小さな忘れがちな毎日に感謝してる。生きている、生かされているって。いつ息たえるのか、それは仕方ないけれど、やり残したことがあるまま人って亡くなるものだと・・・。

だから、油断してはもったいないと思い、懸命にがんばってみるがすぐに息がきれてしまう。自分に甘いのは、昔から変わらない。少しは変われば、生きやすいのになんか出来ない。不器用と上手くやるしかない。

物欲、金欲、名声、支配欲、美貌、欲しいものはたくさんで、自己満足したいだけなのかと少し悲しくなる。

奉仕のころや慈愛のころも、深く眠っているけれど。純粋なままでは、生きにくい世の中で、他者と己も、純粋さゆえ傷つくなんてわからなかった。

言い訳して逃げてみて、安堵して、ため息ついて。幸せの形はひとそれぞれ違っていい。他者からみたら、それが間違っていたり不幸せにみえたりするけれど。後悔なく生きて、責任がついてくるけれど・・・。

ひとつの問題をクリアーして、ちいさな幸せ。クリアーできないひとは、同じ問題の繰り返しなんだ。気づいて、乗り越えないと変わらないパラドックスのようだ。

”幸せになりたい”そう願えばいい。希望を捨てないのが小さな力になるから。

それから、どうしたいのか、どうすればいいのか考えていこう。無駄なことが見えてくるかもしれないけど・・・。

今日も、道草、のどかな日常に幸せと感謝。

無事にすごせましたから。明日も、きっと幸せだな。

## 目的と寄り道

---

やりたい事があればそれに向け、懸命に進めばいい。目的をはたすために。だけど、真っすぐな道は、時に単調で飽きてきてしまう。ついつい、楽な娯楽に向かい休憩ばかりだ。そんな、小さな幸せもいいと思う。

寄り道に案外、みっけもんがあるかもしれないし、成長もできるかもしれない。なんて、あとからのこじつけだけだ。

夢を語るほど幸せはない。語る夢がないのは少し淋しいかな。やりたい事を夢にすればいい。小さな事からはじめればいい。意外に簡単かもしれなくて、自分ていう人間の新たな発見が見つかるかもしれなくて。

人生の時間は限られているから、少しばかり焦ってみようかな。心臓がぎゅっと苦しくなるけれど、その痛みと苦さは”生きてる”ってことなのかななんて思うよ。明日、天に召されたら悔いばかりの残る人生は悲しいから、今を懸命に生きたいなって思うよ。その時に、やりたい事がまだあってもいい。やりたい事がなくなる事はいやだから。

寄り道は、大好き。新たな発見と平穏に刺激をくれるから。胸を高めてくれるからだ。しかし、遅々たる進みに内心は汗をかいているんだ。自分を見失ってるよな気がして、時々恐くなる事もあるけれどそれでも忘れてはいない。

だってそれは、ころからの求める最終目的ではなく、通過点だからだ。たくさんの駅がある。全部が目的でやりたい事で、かなえたい事であるはずなんだ。でもそう簡単には、たどりつけなくて毎日をもがいて苦しんでいるよ。

平穏な日常の幸せにひたりながら、忘れてしまったふりはやめにした。後悔なき人生にしたいから、失敗、間違い、戸惑い、恐怖、苦勞と向き合い乗り越えて行けると信じて精進していこう。いこうと決めた、自分だけの道がある限りね。

## ゼロのめ

<http://p.booklog.jp/book/47117>

著者：ワト・十和 みゆ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/watotowamiyu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/47117>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/47117>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ